



記者発表資料	
平成30年1月26日	
担当課 (担当者)	生涯学習・スポーツ課 (奥村上)
電話 (内線)	20-3370 (5140)

鳥取市民体育館再整備基本計画(案)を策定について！

—新たな市民体育館の整備に向けて市民政策コメントを行います—

本市では、民間事業者との意見交換や市民の皆様との対話を実施して、昨年6月に「鳥取市民体育館再整備基本構想」を策定した後、施設規模や事業費の精査と民間活力導入可能性調査等による事業手法の検討などを行ってきました。

これらを踏まえ、将来にわたり市民の財産となる施設整備を図るための「鳥取市民体育館再整備基本計画(案)」を取りまとめましたので、市民の皆さまからの意見を募集します。

記

1. 市民政策コメント

① 意見募集期間

平成30年2月1日(木)～20日(火)

② 問い合わせ先

教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

電話番号 0857-20-3373 ファックス番号 0857-20-3364

2. 基本計画(案)の概要

(1) 基本コンセプト ※基本構想からの変更はありません。

- ①市民がスポーツに親しむスポーツ推進の拠点施設となる体育館
- ②市民がいつまでも元気に暮らせる健康づくりの拠点施設となる体育館
- ③スポーツを活かした賑わい創出の拠点施設となる体育館
- ④災害に強いまちづくりに則した体育館

(2) 施設構成と規模

※基本構想では、H26年に実施した基礎調査に基づき、メインアリーナの規模を確保したうえで、新たな機能の付加を考慮せず、現市民体育館の6,874㎡を4,000㎡程度まで最小規模化した施設規模を想定していました。

⇨基本計画では、基本コンセプトの実現に向け必要な諸室を精査し、基本的な施設の延床面積を6,800㎡程度に見直します。

具体の諸室	面積
観客席、ランニングコース、選手専用トイレ、諸室の統合等による縮減	約△1,000㎡
研修会や文化活動、避難所利用も想定した多目的スペース等の新設 (勤労青少年ホーム機能の移転・統合にも配慮)	約500㎡
ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレや授乳室、キッズルームの新設	約200㎡
その他(トレーニングルームの増床、エレベーターの設置、空調設備の導入等)	約250㎡

(3) 施設整備費

※基本構想では、H28年4月着工を想定した基礎調査結果に基づき、施設整備費を@40.1万円/m²によって積算していました。

⇨基本計画では、主に浸水想定区域での緊急避難所まで想定したメインアリーナのかさ上げを行うことにより施設整備の根拠となる建築単価を53.5万円/m²に見直します。

【類似構造（2階以上にメインアリーナを配置）の実績値】

●現在工事中のもの

A市の事例：54.47万円/m²

B市の事例：58.02万円/m²

●H28年度完成案件

C市の事例：54.5万円/m²

D市の事例：58.86万円/m²

【民間ヒアリング（大手の建設業者数社、中堅の建設業者数社）の結果】

●現市民体育館建設事業者の見解：地盤改良の可能性も含み55万円/m²程度が妥当

●ヒアリング結果の平均値：53.5万円/m²

なお、実際の事業化にあたっては、民間事業者からの自由度の高い提案を受けることで、コスト削減や機能集約、複合施設化による収益事業の実施など更なる効率化とともに、クラウドファンディングや市民公募債など特定財源の確保を図ります。

(4) 民間活力導入可能性調査に基づく事業手法の検討

民間事業者へのヒアリング、事業スキームの検証及び事業方式によるVFM（支払いに対する最も価値の高いサービスの供給）の算定を行った結果、民間事業者の創意工夫や運営及び経営ノウハウの発揮により、市民へのより質の高いサービスの提供の実現と市の財政負担の低減を期待することができるPFIに準じる事業手法により実施することとします。

※現在、資金調達方法の異なるDBO方式とBTO方式（PFI）のいずれかで最終的な検討を行っているところです。（基本計画策定時には決定します。）

3. 今後の予定

平成30年3月 鳥取市民体育館再整備基本計画策定

平成30年度 民間提案募集・事業者選定

【以降想定する標準的な整備スケジュール】

平成31年4月～ 設計

平成32年4月～ 既存施設の解体

） 新体育館の建設

平成34年8月頃 新体育館供用開始

※事業者の提案内容により、供用開始までのスケジュールは変わることがあります。